

清水小校長室だより No.11

2019. 6. 27(木) 文責：筒井

梅雨入りの後は嵐

昨夜やっと梅雨入りしました。観測史上、最も遅い梅雨入りだそうです。これで「畑の農作物には恵みの雨になるな。」と思っていたら、熱帯低気圧が台風になるかも知れないということでびっくりしました！

現在午前10時30分です。今は雨も降っておらず、小康状態です。今、校内放送では「3年生は、3時間目は水泳をします」との放送が流れています。

今の天気予報では、夕方までに土佐清水市では、1時間最大雨量が50mm～60mmと予測されており、低気圧が足摺沖に最接近する時間帯は午後6時頃とのことです。

現在清水には警報は出ていないので、子ども達が帰宅するまで、このまま小康状態が続いてくれればなあと祈っています。

（ありがとう）

さすが児童会と6年生 感謝！

今朝は、子ども達が登校してくる時間が特に風雨が強かった。木曜日で恒例のあいさつ運動の日だったが、校舎内の玄関ホールで児童会を中心にあいさつ運動を始めた。



（音読集会 6/25）



（今朝の児童玄関）

私は、児童玄関入り口に立って、廊下が結露でビショビショにならないように、湿気をできるだけ校舎内に入れないように、子どもが来るたびに玄関を開閉していた。

子ども達は、雨に濡れながら、次々と登校してくる。今日は雨合羽も多く、玄関に臨時の雨合羽かけを用意した。そんな様子を見ていた児童会役員の歌恋さんが自分のタオルを持って来て、低学年の子ども達の雨に濡れたランドセルを拭きだした。同時に、すみれさん、彩奈さん、倅也君、朝日君、皓太君が、傘をたたんでくれたり、雨合羽を脱がしたり、それをかけてくれたり…と、登校してくる子ども達のお世話をしてくれた。

誰に頼まれた訳でもないのに、自分たちのできることを実行したことすごいね。朝日君は「1年生の傘立てが一番きれいなで。」とうれしそうに傘を一本一本整頓していた。ありがとう！

WELCOME & Good-bye thank you れいまくん

昨年に続いて、先週から2週間、アメリカに住んでいるれいまくんが体験入学に来ています。



（集会あいさつ 6/24）

昨年も来ていたので、子どもたちも楽しみにしており、

初日登校すると、すぐにクラスの男の子達に案内されて、学級に入っていました。

2年2組に入っています。朝から放課後まで、朝のチャレンジランニングや給食、休み時間など、日本の小学校生活を楽しんでいます。

昨日は、道德の勉強を観に行きましたが、れいまくんも他の子ども達と同じように手を挙げたり、教科書を読んだり、わからないこともしっかり質問していました。

昨年は1週間でしたが今年は2週間です。明日が最終日です。来年も待っています。

See you again！

同じくアメリカから来ているゆずかさん、はるかさん姉妹は7月5日までです。こちらは、1ヶ月間です。もうすっかり清水小の子どもです。授業も何度も観ましたが、ノートもしっかり書けているのにびっくりします。

わいわいガヤガヤ ありがとう

この校長室だよりを子ども達も結構読んでくれているようだ。学級で担任が子ども達に読むことは時間的に無理だと思うので、家で読んでいるのだろうか。低学年は漢字も多くて自分で読むのは難しいだろう。内容にもよるが、家で子どもに読んでくれている家庭もあるようでとてもうれしい。

先週号の「^{おおへび}畑の大蛇の話」は、結構反響があった。日曜日に私の家まで、「ちょっと前に校長先生の家のおそばの空き地にへびがおったで。」と教えに来てくれた子ども達もいた。連絡帳に感想を寄せてくれた保護者もいた。

昨日の朝は、登校してきた4年生の彩芭さん^{いろは}とこんな会話をした。

「校長先生、ばあばの畑でも、へびが網にからまって、死んじゃったと。」

『ほんま、そのへびどうしたろうね』

「ばあば、へびこわないけん、自分ではずしたい。」

『すごいねえ。次に校長先生の畑にへびが出たら、彩芭さんのおばあさんに助けてもらおう。』